

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 月 3 0 日
Date of Application:

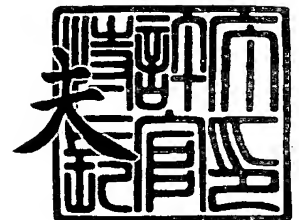
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 2 2 5 6 6
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 0 2 2 5 6 6]

出 願 人 本 田 技 研 工 業 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 1 月 1 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 9 4 0 5 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 H103001101

【提出日】 平成15年 1月30日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区南青山 2 丁目 1 番 1 号
 本田技研工業株式会社内

 【氏名】 小笠原 雄一

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区南青山 2 丁目 1 番 1 号
 本田技研工業株式会社内

 【氏名】 篠崎 敬一

【特許出願人】

 【識別番号】 000005326

 【氏名又は名称】 本田技研工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100097113

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 堀 城之

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 044587

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 0002986

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 補修部品価格決定管理システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プライステーブル価格、類似部番価格、コスト情報価格に基づく補修部品の価格決定を管理する機能を有している補修部品価格決定管理装置と、

パーツリストの前記補修部品の価格を有するプライステーブル、工場調達情報、コスト情報が登録される価格設定対象データベースと、

前記補修部品を示す販売口座データや、本登録データが登録される部品データベースと、

仮登録データが登録される価格設定方法履歴管理データベースと、

前記補修部品価格決定管理装置に対してオンライン接続され、前記パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報の入力や、前記プライステーブル価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示を行う機能と、前記プライステーブル価格、類似部番価格、コスト情報価格のいずれかによって設定された前記補修部品の価格を閲覧できる機能とを有する複数の端末とを備え、

前記補修部品価格決定管理装置により、いずれかの前記端末によって選択指示された内容に従い、価格決定された前記補修部品が前記本登録データとして前記部品データベースに登録され、価格決定が行われなかった前記補修部品が前記仮登録データとして前記価格設定方法履歴管理データベースに登録されることを特徴とする補修部品価格決定管理システム。

【請求項 2】 前記補修部品価格決定管理装置は、いずれかの前記端末によって入力された前記パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報を前記価格設定対象データベースに登録する機能を有している登録情報受付部と、

いずれかの前記端末からの入力内容に基づき、前記価格設定対象データベース及び部品データベースに登録されている各種情報を検索する機能を有している検索情報受付部と、

いずれかの前記端末によって前記プライステابل価格の設定の指示が出され、さらに前記補修部品の部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の部番と前記補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格を前記価格設定対象データベースに登録されているプライステابلから検索し、それぞれの前記補修部品について損益計算を行い、その計算結果を前記端末に表示する機能を有しているプライステابل価格設定部と、

いずれかの前記端末によって類似部番による価格設定の指示が出され、さらに前記補修部品の類似部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の類似部番と前記補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格を前記部品データベースに登録されている販売口座から検索し、それぞれの前記補修部品について損益計算を行い、その計算結果を前記端末に表示する機能を有している類似部番価格設定部と、

いずれかの前記端末によってコスト情報による価格設定の指示が出され、さらに前記補修部品の部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格を前記価格設定対象データベースに登録されているコスト情報から検索し、それぞれの前記補修部品について損益計算を行い、その計算結果を前記端末に表示する機能を有しているコスト情報価格設定部と、

前記プライステابل価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算により、収益有りと判断された前記補修部品の前記本登録データとして前記部品データベースに登録する機能を有している本登録部と、

前記プライステابل価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算により、収益有りと判断されなかった前記補修部品の前記仮登録データとして前記価格設定方法履歴管理データベースに登録する機能を有している仮登録部とを備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の補修部品価格決定管理システム。

【請求項 3】 前記本登録部は、収益有りと判断されなかった前記補修部品が評価決定されると、前記仮登録データを前記本登録データとすることを特徴とする請求項 2 に記載の補修部品価格決定管理システム。

【請求項 4】 補修部品価格決定管理装置により、プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格に基づく補修部品の価格決定が管理される工程と、

価格設定対象データベースに、パーツリストの補修部品の価格を有するプライステابل、工場調達情報、コスト情報が登録される工程と、

部品データベースに、前記補修部品を示す販売口座データや、本登録データが登録される工程と、

価格設定方法履歴管理データベースに、仮登録データが登録される工程と、

前記補修部品価格決定管理装置に対してオンライン接続される複数の端末により、前記パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報の入力や、前記プライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示と、前記プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格のいずれかによって設定された前記補修部品の価格の閲覧が行われる工程とを有し、

前記補修部品価格決定管理装置により、いずれかの前記端末によって選択指示された内容に従い、価格決定された前記補修部品が前記本登録データとして前記部品データベースに登録され、価格決定が行われなかった前記補修部品が前記仮登録データとして前記価格設定方法履歴管理データベースに登録されることを特徴とする補修部品価格決定管理方法。

【請求項 5】 登録情報受付部により、いずれかの前記端末によつて入力された前記パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報が前記価格設定対象データベースに登録される工程と、

検索情報受付部により、いずれかの前記端末からの入力内容に基づき、前記価格設定対象データベース及び部品データベースに登録されている各種情報が検索される工程と、

プライステابل価格設定部により、いずれかの前記端末によって前記プライステابل価格の設定の指示が出され、さらに前記補修部品の部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の部番と前記補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格が前記価格設定対象データベースに登録されているプライステابلから検索され、それぞれの前記補修部品について損益計算が行わ

れ、その計算結果が前記端末に表示される工程と、

類似部番価格設定部により、いずれかの前記端末によって類似部番による価格設定の指示が出され、さらに前記補修部品の類似部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の類似部番と前記補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格が前記部品データベースに登録されている販売口座から検索され、それぞれの前記補修部品について損益計算が行われ、その計算結果が前記端末に表示される工程と、

コスト情報価格設定部により、いずれかの前記端末によってコスト情報による価格設定の指示が出され、さらに前記補修部品の部番と、前記補修部品の属性とが入力されると、前記補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた前記補修部品の価格が前記価格設定対象データベースに登録されているコスト情報から検索され、それぞれの前記補修部品について損益計算が行われ、その計算結果が前記端末に表示される工程と、

本登録部により、前記プライステ이블価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算によって、収益有りと判断された前記補修部品が前記本登録データとして前記部品データベースに登録される工程と、

仮登録部により、前記プライステ이블価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算によって、収益有りと判断されなかった前記補修部品が前記仮登録データとして前記価格設定方法履歴管理に登録される工程とを有する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の補修部品価格決定管理方法。

【請求項 6】 前記本登録部により、収益有りと判断されなかった前記補修部品が評価決定されると、前記仮登録データが前記本登録データとされる工程を有することを特徴とする請求項 5 に記載の補修部品価格決定管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、四輪・二輪・汎用製品を含む新車の補修部品の価格決定を一元管理する補修部品価格決定管理システムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

ブレーキパッド、エアフィルタ、ワイパーブレード等の自動車用の補修部品は、新車が開発されると、その設計図に基づいて上市すべきものが決定される。自動車の場合、同一車種であっても、複数のオプションの組み合わせで複数の販売モデルがMTOC(Model, Type, Option, Collar)別に設定される。また、国内モデルと海外モデルとでは、その仕様が異なる場合があり、その仕様に合わせた補修部品も決定される。ちなみに、自動車用の補修部品は、一車種当たり7,000もの販売口座が設定されている。ここで、販売口座とは、パーツリスト（補修部品リスト）に載せられる数字やアルファベット等からなる補修部品の番号である。これらの補修部品は、新車が市場で販売されるまでに事前に在庫しておく必要がある。つまり、エンドユーザの要望に即座に答えることができるようにするためである。

【0003】

また、自動車のそれぞれの補修部品の価格は新機種が立ち上がる度に設定され、それらがパーツリスト等に掲載される。この場合、上市する時点で一車種当たり7,000もの販売口座の全ての価格を決定する必要がある。また、新機種の設計が固まると、どの部品をどの形態で補修部品として販売するかが決定される。この場合、決定した補修部品をどこから調達するか、仕様のバリエーションをどうするか等を決めた後、その決定した情報も併せて販売口座データベースに登録される。さらに、決定した調達先との価格交渉や車本体の各製造単価等のデータが収集される。また、部品の梱包仕様の決定やその調達先との価格交渉及び価格決定が行われる。

【0004】

これら全てのコスト情報が揃った後、補修部品の売価設定が開始される。この場合、まず仮売価設定が次の①～⑤の順に行われる。

- ①類似部品の検索（プライステータブルとの比較）
- ②図面確認
- ③市場価格（競合他社価格）との比較

④コスト情報（原単位価格）の確認**⑤価格設定リストの作成**

最後に、仮価格設定リストに基づき、部品価格評価会が行われ、最終価格が決定されて販売口座データベースに登録される。ところが、このような補修部品の価格決定方法では、補修部品の最終価格が決定されるまでの流れが一元管理されていないため、それぞれの担当者間での統一性がないことから、補修部品の設定価格にバラツキが生じたり、補修部品の売価設定が完了するまでに時間がかかってしまうという問題があった。また、情報元が多岐であるため、新人担当者には理解しづらいという問題もあった。

【 0 0 0 5 】

ちなみに、特許文献 1 では、取引対象の識別情報と、取引対象の品質を示す品質情報とを記憶した外部記憶装置と、依頼元から価格を設定すべき取引対象の識別情報と、取引対象の品質を判定するための品質判定情報とを受信する通信インターフェイスと、受信された識別情報及び品質判定情報に合致する品質情報を外部記憶装置から読み出す CPU と、読み出された品質情報を依頼元へ送信する通信インターフェイスとを備え、依頼元からの要求に応じて取引対象の価格設定を支援する装置を提案している。

【 0 0 0 6 】**【特許文献 1】**

特開 2 0 0 0 - 0 0 7 7 9 0

【 0 0 0 7 】**【発明が解決しようとする課題】**

このように、上述した特許文献 1 では、依頼元からの要求に応じて取引対象の価格設定を支援することにより、販売希望者が取引対象に対して適正な価格を設定することが可能となる。ところが、特許文献 1 に示された装置では、取引対象の数が少ない場合に有効であり、上述したように、一車種当たり 7, 0 0 0 もの販売口座の全ての価格を決定する必要がある場合には、対応不可能となってしまう、やはり補修部品の設定価格にバラツキが生じたり、補修部品の売価設定が完了するまでに時間がかかってしまったり、情報元が多岐であるため、新人担当者

には理解しづらいという問題を生じてしまう。

【0008】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、補修部品の設定価格にバラツキを無くし、補修部品の売価設定が完了するまでの時間を短縮することができ、併せて新人担当者でも容易に補修部品の価格決定を行うことができる補修部品価格決定管理システムを提供することができるようにするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の補修部品価格決定管理システムは、プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格に基づく補修部品の価格決定を管理する機能を有している補修部品価格決定管理装置と、パーツリストの補修部品の価格を有するプライステابل、工場調達情報、コスト情報が登録される価格設定対象データベースと、補修部品を示す販売口座データや、本登録データが登録される部品データベースと、仮登録データが登録される価格設定方法履歴管理データベースと、補修部品価格決定管理装置に対してオンライン接続され、パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報の入力や、プライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示を行う機能と、プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格のいずれかによって設定された補修部品の価格を閲覧できる機能とを有する複数の端末とを備え、補修部品価格決定管理装置により、いずれかの端末によって選択指示された内容に従い、価格決定された補修部品が本登録データとして部品データベースに登録され、価格決定が行われなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理データベースに登録されることを特徴とする。

また、補修部品価格決定管理装置は、いずれかの端末によつて入力されたパーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報を価格設定対象データベースに登録する機能を有している登録情報受付部と、いずれかの端末からの入力内容に基づき、価格設定対象データベース及び部品データベースに登録されている各種情報を検索する機能を有している検索情報受付部と、いずれかの端末によってプライステابل価格の設定の指示が出され、さらに補修部品の部番と、補

修部品の属性とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を価格設定対象データベースに登録されているプライステーブルから検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末に表示する機能を有しているプライステーブル価格設定部と、いずれかの端末によって類似部番による価格設定の指示が出され、さらに補修部品の類似部番と、補修部品の属性とが入力されると、補修部品の類似部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を部品データベースに登録されている販売口座から検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末に表示する機能を有している類似部番価格設定部と、いずれかの端末によってコスト情報による価格設定の指示が出され、さらに補修部品の部番と、補修部品の属性とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を価格設定対象データベースに登録されているコスト情報から検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末に表示する機能を有しているコスト情報価格設定部と、プライステーブル価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算により、収益有りと判断された補修部品を本登録データとして部品データベースに登録する機能を有している本登録部と、プライステーブル価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算により、収益有りとは判断されなかった補修部品を仮登録データとして価格設定方法履歴管理データベースに登録する機能を有している仮登録部とを備えるようにすることができる。

また、本登録部は、収益有りとは判断されなかった補修部品が評価決定されると、仮登録データを本登録データとするようにすることができる。

本発明の補修部品価格決定管理方法は、補修部品価格決定管理装置により、プライステーブル価格、類似部番価格、コスト情報価格に基づく補修部品の価格決定が管理される工程と、価格設定対象データベースに、パーツリストの補修部品の価格を有するプライステーブル、工場調達情報、コスト情報が登録される工程と、部品データベースに、補修部品を示す販売口座データや、本登録データが登録される工程と、価格設定方法履歴管理データベースに、仮登録データが登録される工程と、補修部品価格決定管理装置に対してオンライン接続される複数の端

末により、パーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報の入力や、プライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示と、プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格のいずれかによって設定された補修部品の価格の閲覧が行われる工程とを有し、補修部品価格決定管理装置により、いずれかの端末によって選択指示された内容に従い、価格決定された補修部品が本登録データとして部品データベースに登録され、価格決定が行われなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理データベースに登録されることを特徴とする。

また、登録情報受付部により、いずれかの端末によつて入力されたパーツリストの補修部品の価格、工場調達情報、コスト情報が価格設定対象データベースに登録される工程と、検索情報受付部により、いずれかの端末からの入力内容に基づき、価格設定対象データベース及び部品データベースに登録されている各種情報が検索される工程と、プライステابل価格設定部により、いずれかの端末によってプライステابل価格の設定の指示が出され、さらに補修部品の部番と、補修部品の属性とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が価格設定対象データベースに登録されているプライステابلから検索され、それぞれの補修部品について損益計算が行われ、その計算結果が端末に表示される工程と、類似部番価格設定部により、いずれかの端末によって類似部番による価格設定の指示が出され、さらに補修部品の類似部番と、補修部品の属性とが入力されると、補修部品の類似部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が部品データベースに登録されている販売口座から検索され、それぞれの補修部品について損益計算が行われ、その計算結果が端末に表示される工程と、コスト情報価格設定部により、いずれかの端末によってコスト情報による価格設定の指示が出され、さらに補修部品の部番と、補修部品の属性とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が価格設定対象データベースに登録されているコスト情報から検索され、それぞれの補修部品について損益計算が行われ、その計算結果が端末に表示される工程と、本登録部により、プライステابل価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算によって、収益有りと判断された補修部品が本登

録データとして部品データベースに登録される工程と、仮登録部により、プライステابل価格設定部、類似部番価格設定部及びコスト情報価格設定部による損益計算によって、収益有りと判断されなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理に登録される工程とを有するようにすることができる。

また、本登録部により、収益有りと判断されなかった補修部品が評価決定されると、仮登録データが本登録データとされる工程を有するようにすることができる。

【0010】

【発明の作用効果】

以上の如く本発明に係る補修部品価格決定管理システムによれば、補修部品価格決定管理装置により、いずれかの端末によるプライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示された内容に従い、価格決定された補修部品が本登録データとして部品データベースに登録され、価格決定が行われなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理データベースに登録されるようにしたので、補修部品の設定価格にバラツキを無くし、補修部品の売価設定が完了するまでの時間を短縮することができ、併せて新人担当者でも容易に補修部品の価格決定を行うことができる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

図1は、本発明の補修部品価格決定管理システムの一実施の形態を示す図、図2～図4は、図1の補修部品価格決定管理システムによる補修部品価格決定管理方法を説明するためのフローチャートである。

図1に示す補修部品価格決定管理システムは、複数の端末10、補修部品価格決定管理装置20、価格設定対象DB（データベース）30、部品DB（データベース）40、価格設定方法履歴管理DB（データベース）50を備え、これらはオンライン接続されている。

複数の端末10は、後述の工場調達情報、コスト情報、パーツリストの補修部品の価格の入力や、後述のプライステابل価格設定、類似部番価格設定、コス

ト情報価格設定の選択指示を行う機能と、後述のプライステابل価格設定、類似部番価格設定、コスト情報価格設定のいずれかによって設定された補修部品の価格を閲覧できる機能等を有している。

【0012】

補修部品価格決定管理装置20は、プライステابل価格、類似部番価格、コスト情報価格に基づく補修部品の価格決定を管理する機能を有しているものであり、登録情報受付部21、検索情報受付部22、プライステابل価格設定部23、類似部番価格設定部24、コスト情報価格設定部25、本登録部26、仮登録部27を備えている。

登録情報受付部21は、いずれかの端末10によって入力された後述の工場調達情報、コスト情報、パーツリストの補修部品の価格等を価格設定対象DB（データベース）30に登録する機能を有している。

検索情報受付部22は、端末10からの入力内容に基づき、価格設定対象DB（データベース）30及び部品DB（データベース）40に登録されている各種情報を検索する機能を有している。

プライステابل価格設定部23は、端末10によってプライステابلによる価格設定の指示が出され、さらに補修部品の部番と、補修部品の属性である必要な項目（Ex. 寸法・排気量・色等）とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を価格設定対象DB（データベース）30に登録されているプライステابلから検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末10に表示する機能を有している。

【0013】

類似部番価格設定部24は、端末10によって類似部番による価格設定の指示が出され、さらに補修部品の類似部番と、補修部品の属性である必要な項目（Ex. 寸法・排気量・色等）とが入力されると、補修部品の類似部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を部品DB（データベース）40に登録されている販売口座から検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末10に表示する機能を有している。

コスト情報価格設定部25は、端末10によってコスト情報による価格設定の

指示が出され、さらに補修部品の部番と、補修部品の属性である必要な項目（Ex. 寸法・排気量・色等）とが入力されると、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格を価格設定対象DB（データベース）30に登録されているコスト情報から検索し、それぞれの補修部品について損益計算を行い、その計算結果を端末10に表示する機能を有している。

【0014】

本登録部26は、プライステابل価格設定部23、類似部番価格設定部24及びコスト情報価格設定部25による損益計算により、収益有りと判断された補修部品を本登録データとして部品DB（データベース）40に登録する機能を有している。

仮登録部27は、プライステابل価格設定部23、類似部番価格設定部24及びコスト情報価格設定部25による損益計算により、収益有りと判断されなかった補修部品や「価格評価会」での妥当性の評価がOKとされなかった補修部品を仮登録データとして価格設定方法履歴管理DB（データベース）50に登録する機能を有している。

価格設定対象DB（データベース）30には、プライステابل、工場調達情報、コスト情報等が登録される。部品DB（データベース）40には、各車種の補修部品を示す販売口座データや、本登録部26による本登録データが登録される。価格設定方法履歴管理DB（データベース）50には、仮登録部27による仮登録データ等が登録される。

【0015】

次に、このような構成の補修部品価格決定管理システムによる補修部品価格決定管理方法について説明する。

まず、図2に示すように、たとえば自動車の新機種が立ち上げられ（ステップS1）、上述したいずれかの端末10によって工場調達情報が得られると（ステップS2）、工場調達情報のうちの補修部品の販売口座に関するデータが登録情報受付部21により部品DB（データベース）40に登録される（ステップS3）。このとき、新機種の設計図に基づいた上市すべき補修部品の価格がパーツリスト（補修部品リスト）に掲載されるとともに、上述したいずれかの端末10に

よって入力されたパーツリストの補修部品の価格が価格設定対象DB（データベース）30のプライステータブルに登録される（ステップS4～S6）。ここで、プライステータブルには、数字やアルファベット等からなる補修部品の番号である販売口座毎にそれぞれの補修部品の価格が登録される。

【0016】

このとき、調達先との価格交渉や車本体の各製造単価等の情報や、補修部品の梱包仕様の決定及びその調達先との価格交渉及び価格決定された情報が上述したいずれかの端末10により入力されると、登録情報受付部21によりコスト情報として価格設定対象DB（データベース）30に登録される（ステップS7～S10）。

次いで、補修部品の売価設定が行われる。この場合、上述したいずれかの端末10には、プライステータブル価格設定、類似部番価格設定、コスト情報価格設定の選択項目が表示され、たとえばプライステータブル価格設定を選択すると、図3に示すプライステータブル価格設定処理に移行する（ステップS11～S13）。

【0017】

ここでは、上述したいずれかの端末10に価格設定を必要とする部番の一覧が表示されるため、対象部番を選択すると、「プライステータブルによる価格設定」画面へ遷移する。ここで、部番とは、パーツリストに載せられる数字やアルファベット等からなる補修部品の番号のうちの主ナンバーである。その画面上で補修部品の属性である必要な項目（Ex. 寸法・排気量・色等）を入力し、Enterキーを押すと、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が価格設定対象DB（データベース）30に登録されているプライステータブルから検索され、それぞれの補修部品についての損益計算が行われた後、その計算結果が端末10に表示される（ステップS14）。その計算結果からたとえば利益ありと判断され、さらに本登録と判断された場合に本登録となる（ステップS15～S17）。この場合、本登録となる補修部品の販売口座が本登録部26によって部品DB（データベース）40に本登録データとして登録される（ステップS18）。これに対し、（ステップS15）にて利益ありと判断しなかった場合には、（ステップS13）に戻り、再度、必要な項目（Ex. 寸法・排気量・色

等)の入力のし直しが行われる。

【0018】

一方、上述したプライステーブルに対象品目がなければ、図2の(ステップS11)にて類似部番価格設定を選択することにより、図3の類似部番価格設定処理に移行する(ステップS19)。ここでは、上述したいずれかの端末10に価格設定を必要とする部番の一覧が表示されるため、上記同様に、対象部番を選択すると、「類似部番による価格設定」画面へ遷移する。その画面上で補修部品の属性である必要な項目(Ex. 寸法・排気量・色等)を入力し、Enterキーを押すと、補修部品の類似部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が部品DB(データベース)40に登録されている販売口座から検索され、それぞれの補修部品についての損益計算が行われた後、その計算結果が端末10に表示される(ステップS20)。その計算結果からたとえば利益有りと判断され、さらに本登録すると判断された場合に本登録となる(ステップS21～S23)。この場合、本登録となる補修部品の販売口座が本登録部26によって部品DB(データベース)40に本登録データとして登録される(ステップS24)。これに対し、(ステップS21)にて利益有りと判断しなかった場合には、(ステップS19)に戻り、再度、必要な項目(Ex. 寸法・排気量・色等)の入力のし直しが行われる。

【0019】

一方、上述した類似部番に対象品目がなければ、図2の(ステップS12)にてコスト情報価格設定を選択することにより、図3のコスト情報価格設定処理に移行する(ステップS25)。ここでは、上述したいずれかの端末10に価格設定を必要とする部番の一覧が表示されるため、上記同様に、対象部番を選択すると、「コスト情報による価格設定」画面へ遷移する。その画面上で補修部品の属性である必要な項目(Ex. 寸法・排気量・色等)を入力し、Enterキーを押すと、補修部品の部番と補修部品の属性とに基づいた補修部品の価格が価格設定対象DB(データベース)30に登録されているコスト情報から検索され、それぞれの補修部品についての損益計算が行われる(ステップS26)。

ここで、コスト情報価格設定には、2通りの設定が用意されている。すなわち

、利益有りとは判断された場合と、利益有りとは判断されなかった場合とである。そこで、まず利益有りとは判断されると（ステップS27）、コスト情報に基づいた自動計算による計算結果が表示される（ステップS28、S29）。その計算結果からたとえば他社比較の有無が判断され（ステップS30）、他社比較が必要と判断された場合には、再度、（ステップS25）からの処理が行われる。

【0020】

これに対し、他社比較が不要と判断され、さらに本登録すると判断した場合には本登録となる（ステップS30～S32）。この場合、本登録となる補修部品の販売口座が上記同様に本登録部26により部品DB（データベース）40に本登録データとして登録される（ステップS33）。

一方、（ステップS27）にて利益有りとは判断されなかった場合、個別登録となる（ステップS34）。この個別登録の際には、コーションメッセージが表示されるようにしてもよい。ここでは、個別登録が行われるとともに、他社比較の有無が判断され（ステップS35）、他社比較が必要と判断された場合には、再度、（ステップS25）からの処理が行われる。これに対し、他社比較が不要と判断され、さらに本登録すると判断した場合には本登録となる（ステップS35～S37）。この場合、本登録となる補修部品の販売口座が上記同様に本登録部26により部品DB（データベース）40に本登録データとして登録される（ステップS38）。

【0021】

一方、（ステップS16）、（ステップS22）、（ステップS36）にて、本登録すると判断されなかった場合は、図4に示すように、仮登録部27により価格設定方法履歴管理DB（データベース）50に仮登録データとして登録される（ステップS39）。仮登録データとされた補修部品の価格については、「価格評価会」にてその妥当性が評価され（ステップS41）、評価OKであれば、その補修部品の販売口座の仮登録データが本登録部26により部品DB（データベース）40に本登録データとして登録される（ステップS42、S43）。これに対し、評価OKでなければ、図2の（ステップS11）に戻り、再度、上述したプライステابل価格設定、類似部番価格設定、コスト情報価格設定のいず

れかが行われる。このとき、評価OKとされなかった仮登録データは、価格設定方法履歴管理DB（データベース）50に蓄積され（ステップS44）、次回の価格設定時に参考情報として使われる。

【0022】

このように、本実施の形態では、補修部品価格決定管理装置20により、いずれかの端末10によるプライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示された内容に従い、価格決定された補修部品が本登録データとして部品DB（データベース）40に登録され、価格決定が行われなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理DB（データベース）50に登録され、さらに収益有りと判断されなかった補修部品が評価決定されると、仮登録データが本登録データとされるようにした。

これにより、補修部品の最終価格が決定されるまでの流れが一元管理されるため、それぞれの担当者間での統一性を持たせることができ、補修部品の設定価格のバラツキが無くなるばかりか、補修部品の売価設定が完了するまでの時間を短縮することができ、併せて新人担当者でも容易に補修部品の価格決定を行うことができる。

なお、本実施の形態では、四輪の新車の補修部品の価格決定を一元管理する場合について説明したが、この例に限らず、二輪や汎用製品を含む新車の補修部品の価格決定を一元管理することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の補修部品価格決定管理システムの一実施の形態を示す図である。

【図2】

図1の補修部品価格決定管理システムによる補修部品価格決定管理方法を説明するためのフローチャートである。

【図3】

図1の補修部品価格決定管理システムによる補修部品価格決定管理方法を説明するためのフローチャートである。

【図4】

図1の補修部品価格決定管理システムによる補修部品価格決定管理方法を説明するためのフローチャートである。

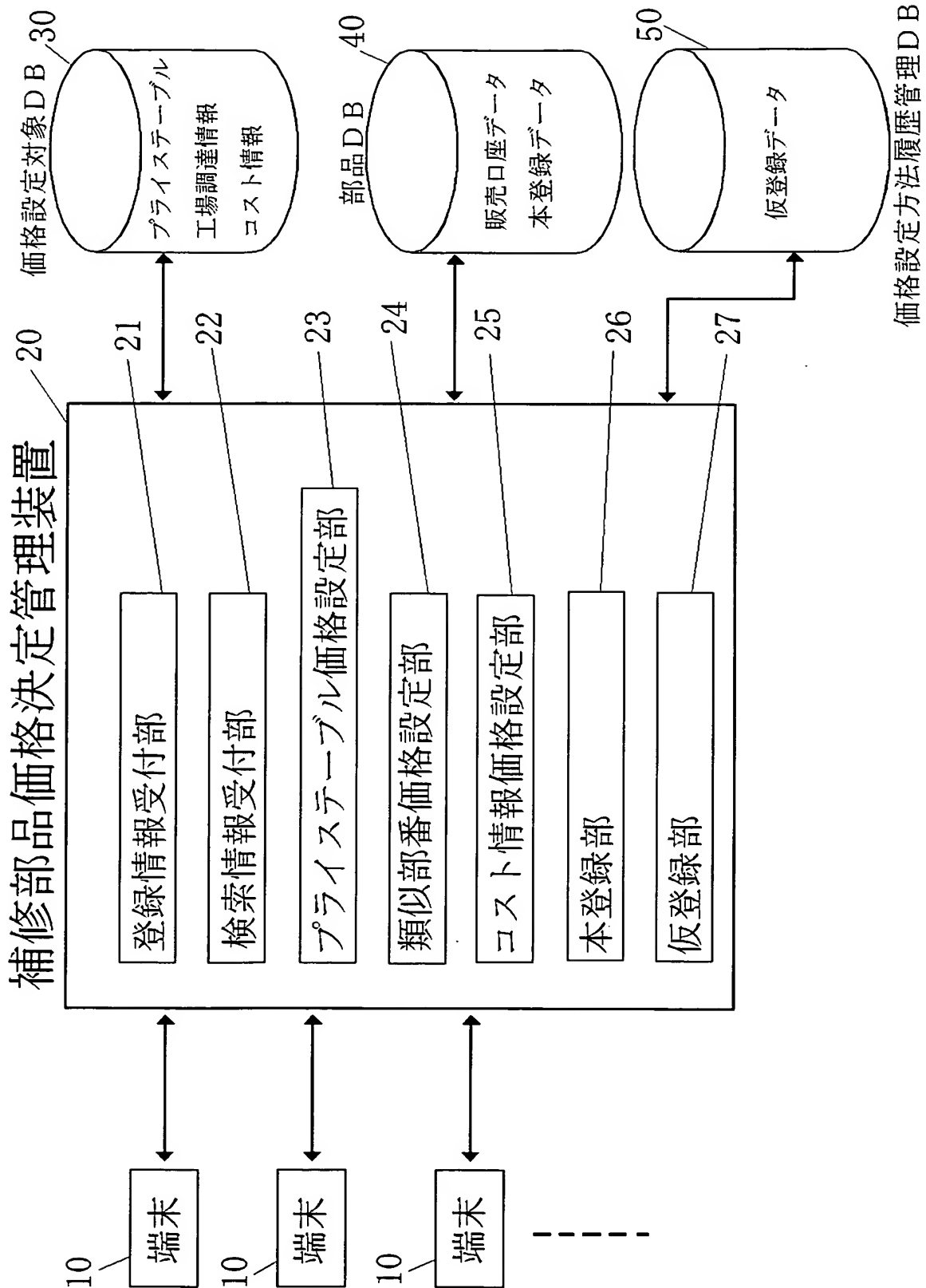
【符号の説明】

- 10 端末
- 20 補修部品価格決定管理装置
 - 21 登録情報受付部
 - 22 検索情報受付部
 - 23 プライステーブル価格設定部
 - 24 類似部番価格設定部
 - 25 コスト情報価格設定部
 - 26 本登録部
 - 27 仮登録部
- 30 価格設定対象DB（データベース）
- 40 部品DB（データベース）
- 50 価格設定方法履歴管理DB（データベース）

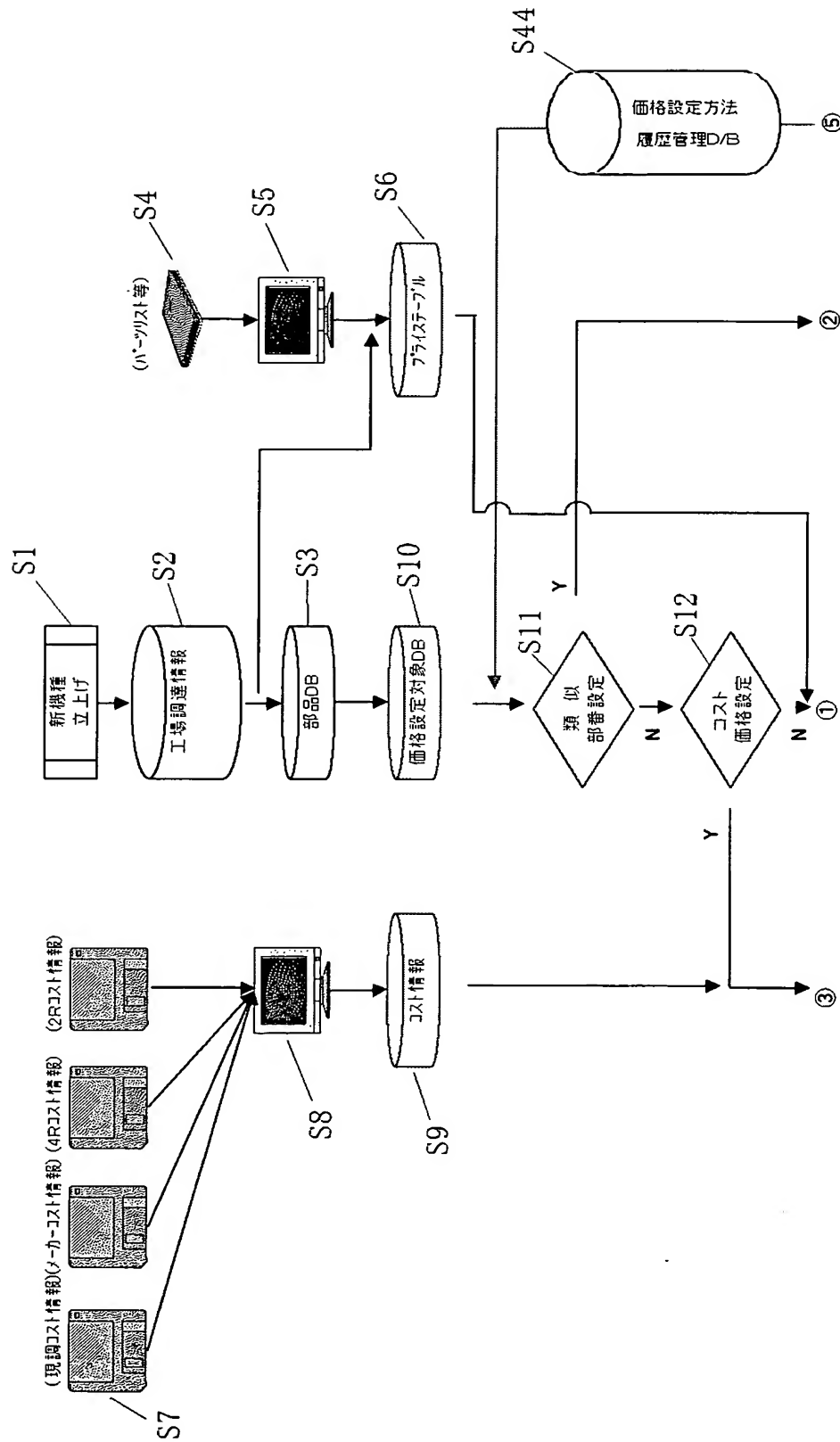
【書類名】

図面

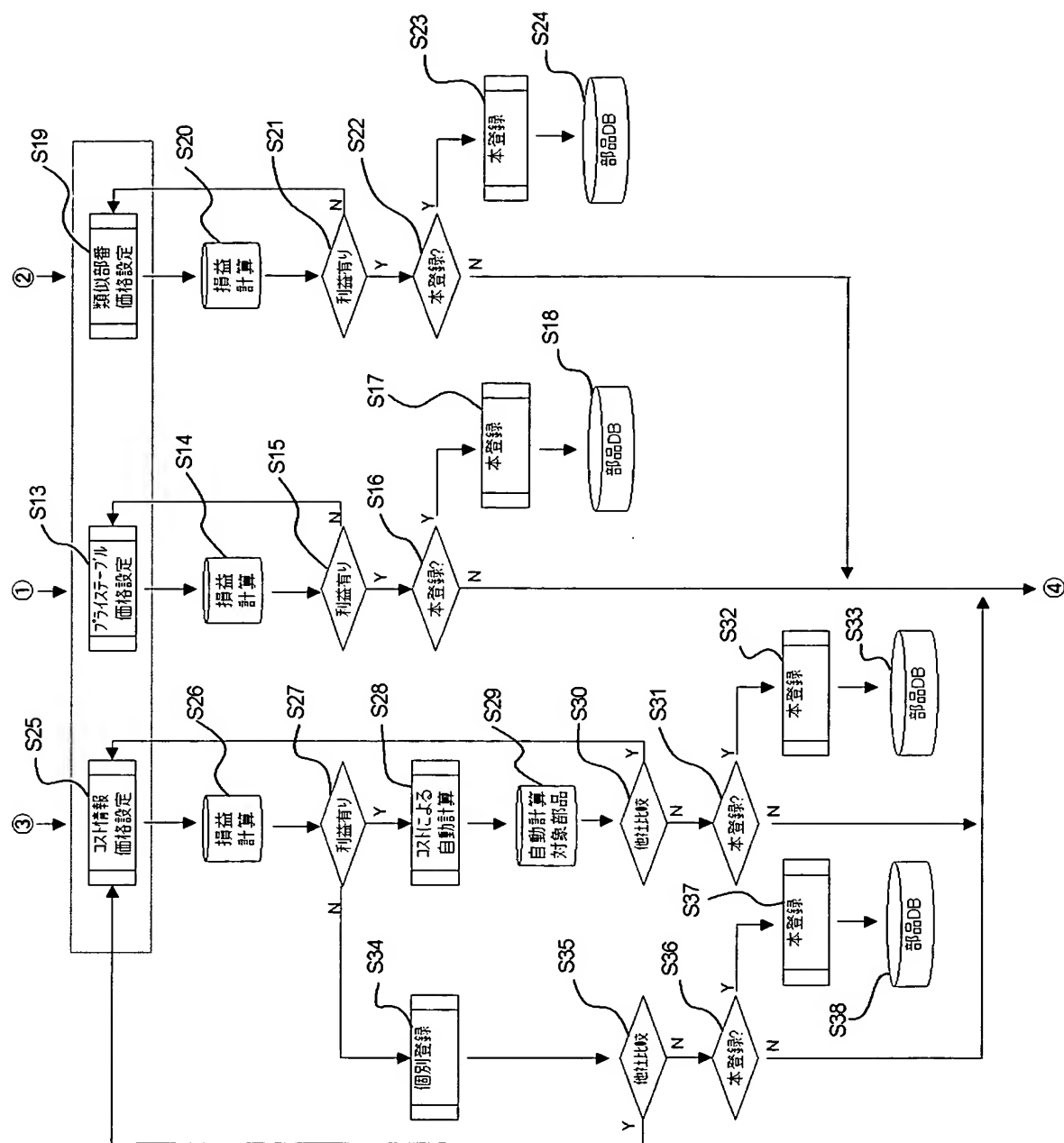
【図 1】



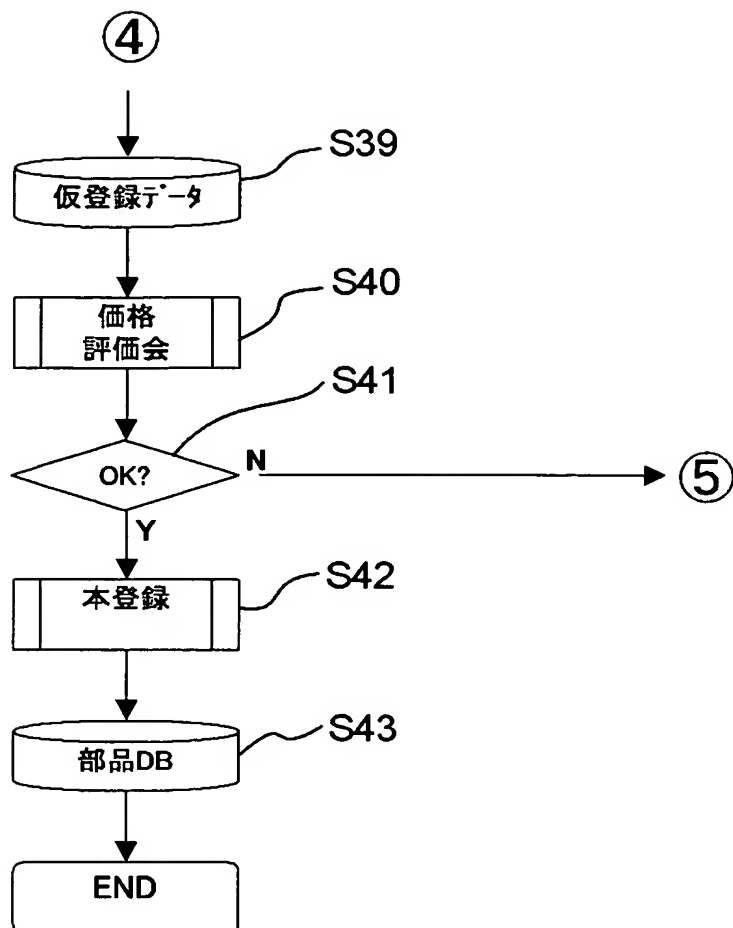
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 補修部品の設定価格にバラツキを無くし、補修部品の売価設定が完了するまでの時間を短縮することができ、併せて新人担当者でも容易に補修部品の価格決定を行うことができるようにする。

【解決手段】 補修部品価格決定管理装置 2 0 により、いずれかの端末 1 0 によるプライステابل価格の設定、類似部番価格の設定、コスト情報価格の設定の選択指示された内容に従い、価格決定された補修部品が本登録データとして部品 DB（データベース） 4 0 に登録され、価格決定が行われなかった補修部品が仮登録データとして価格設定方法履歴管理 DB（データベース） 5 0 に登録され、さらに収益有りと判断されなかった補修部品が評価決定されると、仮登録データが本登録データとされるようにする。

【選択図】 図 1

特願 2003-022566

出願人履歴情報

識別番号

[000005326]

1. 変更年月日

1990年 9月 6日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区南青山二丁目1番1号

氏 名

本田技研工業株式会社